

### 3-2. 授業に関して

授業、特に 2020 年度後期の授業においては、登校時等の「密」を避け、教室や実験・実習設備・機器等を余裕を持って使用可能となるよう、学年別クラス別の分散登校を実施します。そのときの注意点は、以下の通りです。それぞれ、しっかり読んで、これから授業の実施方法が少しずつ変化し、進化していくことを認識してください。

- 各教室にラップトップパソコンを設置しました。このパソコンをプロジェクターとスピーカーに接続し、各教室で Teams 等による「オンライン授業」を受けることができます。従って、必ずしも学生全員がラップトップパソコンやタブレットを学校に持参する必要はありません。ただし最低限でもスマートフォンは Microsoft365 上でのアンケートの提出や出席確認のために必要となります。各教室には電源タップを準備していますが、各自、充電したデバイスを学校に持参することを基本とします。どうしても必要な場合には、充電のため各教室の電源タップを使用してください。
- 「3密」対策に関しては、時間割の工夫などにより、学年・クラスにより登校授業日と在宅授業日を分けるなど、登下校や校内における「密」を可能な限り減少するため、出来る限りの努力をしています。さらにパソコン室等ではアクリル板仕切りの設置、実験・実習においてはフェイスシールド等を準備し飛沫感染を防ぐなどの対策を準備しています。
- 一方で、可能な限り学生の皆さん自身の「自衛の努力」も必要となります。教室や、公共交通機関において完全に「密」な状態を避けることは非常に困難です。「マスクの着用」、「大声で話さない」、「手洗い」など、皆さん自身が自らを感染から守る、また友人を感染から守る努力をするようお願いします。
- 「在宅受講許可申請書」あるいは「特別登校許可申請書」を提出し、教務委員会において「特別な事情」が認められた学生には、登校授業日の在宅での受講あるいは在宅授業日の登校を認めることがあります。

2020 年度後期の授業はオンライン授業と面接（対面）授業のブレンド型の授業の実施が妥当であると判断しています。上記の授業運営方法は、9 月に実施した全数登校からの後退ではなく、最後に述べるように、新しい「ハイブリッド型」の KOSEN 教育に向かったの試みで、with コロナの時代を生きる学生の皆さんが身につけるべきスキルを育成するための試みであると自覚してください。

下に、2020 年度「後期時間割」を示します。「後期時間割」で、学年・学科のところが緑になっている曜日は「在宅授業日」、ピンクになっている曜日は「登校授業日」となります。青色の科目はオンデマンド型オンライン授業、水色の科目はリアルタイム型オンライン授業、黄色の科目は面接（対面）授業となります。また、曜日ごとに、登校か在宅かが分かる「登校日・在宅日一覧」も参考までに示します。